

相馬市立中村第一中学校だより

螢雪の功

令和6年11月11日発行
文責 高瀬 永志

探究学習の成果を発表

8日総合的な学習の時間の発表会を実施しました。これまで、1年生は震災学習、防災学習などの体験、SDGs学習等を通して、2年生は将来に目を向け、キャリア学習、職場体験などを通して、働くことや生きることについて、3年生は相馬市の未来について講話や取材を通して町づくりについて、一人一人テーマを設定して、意見を発信するために取り組んできました。

午前中に各教室にて全員がタブレットPCを使って、探究結果を発表しました。一人一人の興味関心にもとづいたテーマで、深く考えて構成され、聞き応えのある発表をたくさん聞くことができました。

午後は体育館にて、各学年の代表による発表を全校生で聞きました。地域社会、震災復興、自然環境、職業や生き方など様々な分野で、中学生らしい視点や素朴な疑問から課題を設定し、解決のために考えたことをまとめ、提案する発表になっていて、大変興味深く聞くことができました。また、発表者の態度、話し方、プレゼン方法なども考え方抜かれ、工夫されていて素晴らしいかったです。

中高連携校である相馬総合高校より相澤充教頭先生をはじめ、今年総合的な学習の時間で講師としてご協力いただいた皆様（自衛隊相双地域事務所長 森美樹様同じく広報官 横山信晴様 相馬市企画政策部企画政策課企画政策係長 森 洋人様 主査 佐藤佑真様 近畿日本ツーリスト株式会社 安瀬恋白様、学校評議員の皆様）をお招きして、講評をいただきました。子ども達にとても、他の学年の発表を聞いて学ぶことで、次への探究のヒントにすることを期待しています。

各教科の答えがある問題を解く学習とは違い、答えのない課題に向かって、問い合わせ立てて、考え、まとめていく学習は子ども達にとっては難しい課題であったと思います。しかし、それが今のVUCAの時代に求められている力であります。今、総合高校に限らず、どの高校でも「総合的な探究の時間」という授業があります。その先の大学入試では「総合型選抜」の導入が増えています。子ども達にはこの探究学習によって、学ぶ意義や目的などを強く意識させて、時代に求められる学力と学習意欲の向上に期待しています。



代表生徒とテーマ

- 「地球温暖化と相馬市の防災」安部さん ○「震災から何を得た？～13年前の相馬から～」八巻さん ○「相馬市の海の豊かさを守る取り組みと水産業」高橋さん ○「私のふるさとを守るために私ができること」鳥畠さん □「2年生のテーマ紹介」木村さん ○「なぜ、ぼくたちは学校で勉強するのか？」高橋さん ○「学校と社会の違いや、社会で生活するうえで大切なことを知る」鈴木さん ○「仕事のやりがいとは」猪狩さん ○「命を預かる立場として、働くとはどういうことか」高野さん ○「海をきれいにするために」佐々木さん ○「防災・安全 相馬市に住む外国人へのサポート」佐藤さん・鈴木さん ○「相馬の漁業～未利用魚の活用について～」丸山さん・高橋さん・阿部さん・菅野さん・服部さん・三浦さん ○「相馬の空気は本当においしいのか」齋藤さん・清水さん・相馬さん

今週の予定

- | | |
|-----------|---|
| 11月11日（月） | III期時間割開始 学校評価アンケート開始
内部被ばく検査3-2 (9:00) 3-1 (13:30) (相馬中央病院) |
| 12日（火） | 中高連携授業3年英語
内部被ばく検査1-1 (9:00) 1-4 (13:30) |
| 13日（水） | PTA あいさつ運動 内部被ばく検査1-2 (9:00) |
| 14日（木） | 高校入試説明会3年 (本校体育館) 13:40
内部被ばく検査 1-3 (9:00) |
| 15日（金） | RST 公開授業のため給食なし 3校時放課 下校 11:35 |

